

# 『土船かわら版』

※今年度の土船かわら版は季刊・年4回の発行となります



早春の吾妻小富士と果樹園

## 活動報告

## 土船区よりのお知らせ

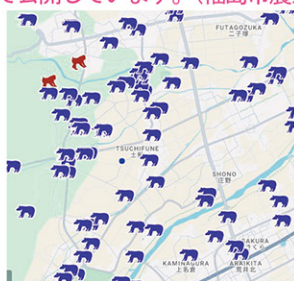
報告 土船区長：吾妻明子

4月から新年度となり生活環境など変わった方もいらっしゃると思います。新体制での土船区の活動も2月7日の事務打ち合わせ会に始まり、3月22日の協議員・町内会長、水路管理者合同会議で、水路の堰上げや8年度の自治振提案事項提出を説明し、始動しました。また昨年の協議員総会で了承頂きました土船集会所のエアコン設置も無事完了し、快適な環境で会議等ができることになりました。冷房代につきましては、今年度の金額を見ながら来年度検討したいと考えております。適切な使用にご協力ください。

さて昨年は土船区でも熊の目撃や被害が散見され、毎日不安な日々が続きました。3月になってから区内で足跡が見つかっています。自宅や田畑周辺の熊の出没を早期に確認するため、福島市のホームページでツキノワグマ目撃情報（獣マップ）を見たり「POLICE ぶくしま」に登録するなどしてみましょう。

★クマ・ニホンザル・イノシシの目撃情報等をマップ上で公開しています。(福島市農業企画課)

獣マップ（検索可能） 福島市ツキノワグマ目撃情報



## 貴船神社例大祭のお知らせ

子どもさん達！お祭りに参加して楽しい1日を過ごしませんか？ 宮司：伊達員俊

祭礼は4月19日（日）に行われます。神事の後に神輿の渡御があり、子どもの山車も一緒に地区内を回ります。山車は事情により近年取り止めとなっていましたが、3年ぶりに祭りに加わる事になりました。すでに多くの子どもさんが参加申し込みをしていますが、これから参加希望の方は連絡して下さい。申込先：080-3191-9852 三瓶誠さん（氏子若連会長）（別途、地区内には祭礼の概要を回覧でお知らせします。）



思い出の写真より（2011年貴船神社前・2017年集会所で）

独立行政法人福祉医療機構（WAM）の令和7年度通常助成は無事に終了しました。今回の助成は「共生社会の実現」に向けての課題解決です。土船地区で開始し、福島内外で高い評価を頂いている『おでかけサポート』の拡充をテーマとしました。

『おでかけサポート』は単なる移動手段の提供ではありません。住民同士が支え合い、日常に不可欠な移動を担うことでその先の福祉を拡充させるのが目的です。認知機能や心身の衰えを予防する「フレイル対策」、高齢独居者の増加等で課題となっている「孤立・孤独予防」等、地域の中での小さな善意を繋ぎ合うことで地域の福祉そのものを育む活動です。

今年度はWAMの補助金を活用することで、計4回の「ボランティア運転者講習会」を開催。58名のボランティア運転者が誕生しました。また各地域にて学習会を開催し、専門家の方をお招きして議論を深めることが出来ました。移動支援専用の保険も補助対象となり、利用者の実費負担の軽減～外出機械の確保～健康な生活の継続と、個々人の福祉を高めることが出来ました。ご協力下さった皆様、ご支援下さった皆さまに改めて厚く御礼申し上げます。



専門家をお招きした学習会では事例発表も行なわれました



運転者講習会の大山講師



福島市社会福祉協議会主催の「ご近所サポーター養成講座」



運転者講習修了証を授与

### アンケートへのお声より抜粋

- ・是非発会し発展してほしい。ここに引っ越しして7か月、3月に免許返納を考えている。
- ・今日の話はとても嬉しかった。参加してよかった。(沖高80代)
- ・バス停まで遠いし、タクシー利用では暮らせない。地域の一人として利用希望します
- ・ケアハウスの方は、自分で行動できるので新方法として参加を考えてください。
- ・新しく聞いた話でしたが、こんな形で福祉の参加があったのかと思いました。
- ・後期高齢を迎え免許返納を考えていたので大変注目した講演だった。自分も会に入りたい。
- ・土船式という福島版が出来たことがすごい。市民が動けば生活が豊かになる。
- ・この様な講演会が実施できてうらやましい。多くの方々が参加していることに驚いた。

## ご報告

### 「福島地域福祉ネットワーク会議」 会長交代について

令和元年より活動を開始した「福島地域福祉ネットワーク会議」では、当初よりご尽力下さいました井上秀之会長のご逝去に伴い、互選により新しい会長が就任致しました。

新会長挨拶：松崎哲也（社会福祉法人しのぶ福祉会 あづま授産所施設長）  
このたび福島地域福祉ネットワーク会議の会長という大役を拝命いたしました、松崎哲也と申します。

私たちの地域には、子どもから高齢者、障がい者まで、さまざまな立場や環境の中で暮らす人々がたくさんいます。誰もが安心して暮らし、互いに支え合える地域をつくるのが、地域福祉の大切な使命だと考えております。

福祉は特別な人のためのものではなく、地域に暮らす私たち一人ひとりに関わるものであり、小さな気づかいや助け合いが、より良い地域づくりに繋がると考えています。これまで福島地域福祉ネットワーク会議を支えてこられた皆様と、井上秀之初代会長の思いを受け継ぎ、ご理解とご協力をいただきながら、微力ではございますが地域福祉のさらなる充実に努めてまいります。今後ともご指導、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



我が家の梨の木で作ったこけし雛です。弥治郎こけし工人に作ってもらいました。  
[花ともも]のおばさん

## ご紹介

### 「土船に帰って来た人シリーズ」Vol.4

穴戸隆浩さんご一家

私・妻・子ども2人の4人家族で縁あって地元土船に戻ってきました。美味しい空気と地元の食材に囲まれ、楽しく毎日ドタバタと笑顔の絶えない日々をすごしています。不馴れな点多く、ご迷惑をお掛けするかもしれないかもしれませんが、地域の皆さまと仲良くさせて頂きたいと思っております。これからどうぞよろしくお願い致します。



## 活動計画

### 「水保地区農林業振興基金」の計画案について

昨年6月に発足した「水保地区農林業振興協議会」。行政担当部局である農業企画課との調整に時間を要し、なかなか実践に移る段階まで至りませんでした。

こうした中、当初の計画にあった「水保ハロウィンランタン祭り」は自主企画として開催することとなり、新年度に仕切り直す形となりました。今年度の計画案としては、

- ① 獣害対策を含む耕作放棄地の解消（地区内でマッチングが可能となった場所を優先）
  - ② 地区内外の交流イベントとしての「水保ハロウィンランタン祭り」（耕作放棄地有効活用）
  - ③ 新規作物としての「ハーゼルナッツ」研修と実証栽培（耕作放棄地有効活用）
  - ④ 有用資源の活用と環境改善（市内のカフェと連携した珈琲カスの堆肥化でゴミの減量化も）
- と4点の重点項目を設定し、地区内の農家さん、農業委員会、障がい者福祉事業等も連携しながら活動を始めたいと思います。

地区内で田畑をお持ちで、ご高齢等によりご自分で管理が出来ずにお困りの方、獣害にお悩みの方が支援対象です。草刈りボランティアや農福連携（福祉事業所の職員と利用者さんが参加）の手法を取り入れながら、農林業の振興・農村環境の保全・農村生活の改善に取り組みます。取組に対するご提案もお待ちしておりますので、事務局を担当する福島地域福祉ネットワーク会議までご連絡ください。地域の産業を守り、暮らしやすい生活のため、皆さんで知恵を絞り、協力していきましょう！

草刈りボランティアも募集します！



木に一つだけなっていた林檎の実を描きました。収穫後に何かの理由で収穫されなかったのか、忘れられていたのかはわかりませんが一つの林檎が収穫されずに取り残され変色していました。朽ちていくものの姿からは寂しさや儚さを感じさせます。こういった少しネガティブな感情も大切な感情の一部で、無くてはならないものだと思います。形あるものが朽ちていくような物悲しさに寄り添えるような絵を描いていきたいです。



「無題」紙に鉛筆 16cm×22cm

ご案内

土船シネマサロン「お楽しみ企画」! 4/14(火)  
 13:30~映画鑑賞  
 美味しいお抹茶の点で方講座 15:30~講座・お茶会  
 @青葉学園たんぼぼ館

毎月第2火曜日の午後、青葉学園の「たんぼぼ館」を会場に、土船シネマサロンを開催しています。話題の映画、懐かしの映画を観た後、お茶とお菓子を頂きながら楽しい交流の時間を過ごしています。

次回4月14日(火)は桜の季節に因んでお抹茶をいただく事にします。おいしい和菓子も用意しますので、どなたでもお茶会費400円でお楽しみいただけます。ぜひ、ご参加下さい。いつものコーヒーもあります。(講座のない時はお茶会費100円です)【お問い合わせ先:佐藤茂子 090-7334-1038】



投稿俳句  
 募集中!

新年度に高校3年生となる青年の俳句や短歌...  
 写真の腕も上げて、ますます情緒に満ちています。皆さまもご投稿を!



県外にお住いのご家族やお知り合いに『かわら版』をお送りください!  
 青葉学園で無料配布中!

2026.04.01.. Ver.35

広報紙『土船かわら版』第34号 発行 福島地域福祉ネットワーク会議

事務局 〒960-2152 福島市土船字新林 24 番地 社会福祉法人青葉学園内

Mail : fukushima.chiikifukushi.ntwk@gmail.com Tel : 090-6553-1584・024-593-1022

※部数ご入用の方はご遠慮なくお問い合わせください ※ご希望・ご提案・ご相談も受け付けております